

世界が注目する、秋田発ジャパンミュージカル。



WARABIZA

北前

MUSICAL

ザンブリコ

夢と野心を白帆に任せ、
次の港へ命がけ！

共催/一般社団法人北前船交流拡大機構 北前船写真協力/昆政明

2018年 **11月28日** (水) 開演/**18:45** (開場/18:15)

雄勝文化会館オービオン メインホール

【全席指定】▶一般:4,000円 ▶高校生以下:2,000円 (税込/当日各500円増)

[主催]わらび座 [後援]湯沢市、湯沢市教育委員会、湯沢商工会議所、ゆざわ小町商工会



遠田 雅 出演!
(湯沢市出身)

プレイガイド ■湯沢文化会館(TEL.0183-72-2121) ■雄勝文化会館オービオン(TEL.0183-52-2112)

お問い合わせ・お申込み

わらび座東北・北海道事務所:TEL.0187-44-3332



「秋田街道絵巻」伝 荻津 勝孝 (上巻・土崎湊部分)より 秋田市立千秋美術館蔵

「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」 ～北前船寄港地・船主集落～

文化庁認定 日本遺産

日本海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

(文化庁ホームページより抜粋)

ものがたり

「異国から煙を吐いて走る、
真っ黒い怪物のような船が来たんだそうな…」

— そんな噂が日本各地の庶民の耳にも届き始めた頃のおはなし。—

「異国から煙を吐いて走る、真っ黒い怪物のような船が来たんだそうな…」。

そんな噂が庶民の耳にも届き始めた幕末のある港。貧しい身分から千の航海を乗り越えて富を築いた船主・弥三郎が北前船「夢千丸」の初出航を準備している。北前船は南から北へ、北から南へと食糧を、衣服を、唄を、踊りを、そして夢を積んで、日本海を行き来する。一方で、海の総合商社である北前船は板子一枚下は地獄、命がけの仕事。そんな夢千丸の乗組員の中に、弥三郎に憧れる少々生意気な若者、喜一がいた。喜一は「金さえあれば何でも出来る。」が口癖だった。男たちの夢と野望と生活物資を載せた夢千丸は人々の待つ港へ向けて出航!! しかし、待ち受けていたのは、大嵐と難破した船の残骸…。やっと思避難して辿りついた港でさらに思いがけないことに出会う。「北前船はただ荷物を運んでいるわけじゃねえ。人の思いといのちをつなげていく仕事なんだ!」。弥三郎の魂が喜一を動かしていく。そして夢千丸は…



主な北前船寄港地と関連地

Staff 脚本：中島淳彦、演出：栗城宏、作曲：飯島優、編曲：沼井雅之、振付：高田綾、美術：宮本博司、照明：日下靖順
音響：押久保豊、衣装：市橋幸恵、ヘアメイク：我妻淳子、小道具：平野忍、舞台監督：浪形未緒

脚本/中島淳彦 プロフィール

1961年宮崎県日南市出身。脚本家・演出家。主宰した劇団ホンキートンクシアターを解散後、劇団道学先生、プレオム劇の座付き作家となり、人間の弱さ愚かさ光を当て、可笑しくて哀しい物語を描き続けている。また、文学座、青年座、東京ヴォードヴィルショーなどの他劇団、新橋演舞場、明治座、中日劇場などの大劇場公演へも多数作品を提供する。また現在、春風亭昇太、六角精児らと共にザ・フルーツというGSバンドを結成、作詞・作曲を担当し、音楽ライブや音楽劇に自らも出演している。

演出/栗城宏 プロフィール

1961年福島県出身。北海道大学卒業。1986年劇団わらび座に入座。8年間役者として舞台上で活動した後、劇団の芸文部に所属し、わらび座内外の多くの作・演出を手がけるわらび座作品では日本の有数の演出家(中村暁夫、栗山民也、ジェームス三木、大関弘政)に師事。2007年文化庁新進芸術家海外留学研修で、ニューヨーク、アッシュランドにて学ぶ。2014年、「第29回国民文化祭・秋田2014」の開会式・オープニングフェスティバルの脚本演出を手がける。同年、演劇部門で秋田県芸術選奨を受賞。

劇団わらび座

わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在5つの公演・グループで年間1000回の公演を行っています。その他にも、民族舞踊・太鼓・演劇など、様々なワークショップも行っています。また劇団の本拠地・秋田県仙北市に、複合文化エリア「あきた芸術村」を展開。ホテルや温泉ゆぼぼ、田沢湖ビール、森林工芸館の他、中心となる「わらび劇場」では1995年より常設公演を開始。大劇場・小劇場合わせて年間約300回、わらび座作品だけでなく海外招聘作品を国際交流事業として上演するなど、多彩なプログラムを上演しています。

わらび座公演営業部 〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田430 TEL:0187-44-3316 FAX:0187-44-3318 <http://www.warabi.jp/>